

緊張感をもって《受けた支援》に報いる実践に挑戦していく決意です。

松浦元理事長の責任

最後に松浦元理事長について述べます。

私達は三五年間、南労会の最高責任者であった松浦元理事長の責任を問



い続けます。彼は乱脈経営と情実人事を理由に理事長を解任された翌年、

百数十人の労災患者さんを連れて他院に移り、松浦診療所を存廃の危機に追い込みました。

現在、西区で『松浦内科クリニック』を開業し、同時に南労会理事長当時、秘密裏に買収した(医)



3/11、和解調印後、最後の昼休み集会

三車会の理事長の座にもあります。過日、「謝罪し、責任の取り方を自ら考え明らかになせよ」と申入れたところ、最後に吐いた言葉は「警察を呼ぶぞ」でした。

数知れぬ労災被害、血と涙の犠牲の上に、労働者の協力で、労働者の希望として作られた労働者医療機関。これを破壊し、組合つぶしと生存権侵害を続けた行為が被災者、労働者とその運動にもたらした損害と後退ははかりしれず、その罪は深く大きいと言わざるをえません。それに対し元理事長、ひとりの医師、ひとりの人間としての償いと

責任を問いつけなければなりません。

皆さま、本当に長い間、ありがとうございました。今後ともご指導、ご鞭撻をよろしくお願いします。

【南労会支部】



横断幕をはずし診療所前で記念撮影

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう！